

1974年
第1回

【タイトル】

青空天国いこいの広場

「君が主役の大レクリエーション大会」 (見るだけでなく参加するという主旨)



委員会名

担当委員会なし

委員長

大西 豊先輩

日時

9.15
(予定は9.8
雨天のため、順延)

会場

維新百年記念公園

メイン事業

- 第1回のため全てがメイン事業
- 市民サービスの為、無料シャトルバスを運行(30分に1本間隔で、市内循環)
- さかなのつかみどり、タレントショー等、約25のプログラムを実施
- 市民(警察、消防、市内レクリエーションクラブ等)を巻き込んで実施

組織・予算

- 実行委員会(月1回、8回程度実施)
- 産業展(自動車メーカー等)には、出展料をとることで、資金調達。

人気のあった事業

- 当時人気のあった「市民体育大会」と共催でおこなった。
- 市内のイベントが少なく、人が集まらないと言われたが、実際は2万人以上を集客。

思いが伝わった?

- 実は、1回きりのイベントのつもりだった。JCや、全国大会のPRには十分効果があった。

1975年
第2回

【タイトル】

青空天国いこいの広場



委員会名

青少年委員会

委員長

五島 巖先輩

日時

9.7
天候:晴れ

会場

維新百年記念公園

メイン事業

- らくがき大会(委員長が印刷業ということで、大判の紙を使用。20~30畳の広さ)
- 日本オーディオクラブによる、音響設備(大型スピーカー等)を提供。
- こいのぼり(市内全域から不要となっているものを借用。かなりの数が集まり、当時これだけのこいのぼりが集まるイベントは、全国的にもなかった。)
- ひよこ(ひよこ約1000羽を無料で頂き、来場者へプレゼント)
- 金魚すくい(無料でいただいできて、10円で実施)

組織・予算

- 実行委員会
- お金をどうして集めるか?から検討・実施。プログラムの広告、アドバルーン収入(協賛の歴史はこの時から)市長を名誉会長に就任いただき、市報にオリコミの実施。各委員会から予算を組んでいただいた。

人気のあった事業

- 目玉の事業はなかったが、全事業かなり盛況だった。

これからの青天に期待すること

前日眠れず、開始のファンファーレと共に涙がでてきた。やるなら熱中してやってほしい。いろんな団体の組み合わせが可能だと思う。各団体のコラボレーションによる新しいスタイルもおもしろいのでは。

当年は青空天国の実施予定は無かった。事業計画も当然なし。5月5日「第1回ちびっこ天国」終了後に、市民のアンコールのリクエストが多かったため、急遽実施することになった。事業委員会がなく、趣旨の近い、青少年委員会が担当。したがって、予算も組まれておらず、「お金をかけずにどのように楽しませるか」からスタートした。

1976年
第3回

【タイトル】

青空天国いこいの広場



委員会名

事業委員会

委員長

大西 豊先輩

日時

9.5 晴れ
(5月5日はちびっこ天国を実施)

会場

維新百年記念公園

メイン事業

- 5月5日 ちびっこ天国(親子で遊べるイベントを実施。熱気球を呼んだ。お金をかけずにおこなうため、宇部興産定期船にて運搬した)
- 夏休み期間は、青空天国ガキ大将を実施(市内15箇所夜スライド上映をゲリラ的に開催。青天を宣伝していった)
- 第3回終了後、優良団体の表彰をうける。助成金のお願いに行き、第4回目より助成金をいただくこととなる。

組織・予算

- 実行委員会

人気のあった事業

- お金はかけられなかったが、たくさんの方が集まった。
- 掘り出しもの市

思いが伝わった?

- メンバーが青天になれてきた頃だった。駐車場誘導や、テント組もなれてきた
- 清掃には力をいれた。「維新公園をきれいなまま返そう」と、メンバーが非常に協力してくれた。

これからの青天に期待すること

30回続いたのが夢の様。アートふる山口も「青天のベース」があってこそきたのでは。